

A-7 10:00 分断から協働へ プロジェクトを成功に導くコミュニケーションは？

PMAJ ダイアログSIG

SIG ワークショップ

このセッションではワールドカフェによって本テーマを探求します。現在の社会や組織に発生する複雑化した問題をPMを用いて解決するためには、主な利害関係者が全体の関係性を理解し協働する必要があります。しかし、私達は自分の立場や意見に固執し、敵対的に閉鎖された関係から抜け出すことができずにいます。また、自分が解決すべき問題を誰かに押しつけたり、引き受けなくて良い問題を抱え込んでいたりします。このように分断された状況を改革するためにコミュニケーションのあり方を変える必要があるとすれば、私達は何をどう変えれば良いのでしょうか？

【ワールドカフェとは】

「深い智慧は、機能的な会議や議論からではなく人々が自由に会話をするカフェのような場や共創的なダイアログから生まれる」という理念に基づいた話し合いの手法です。

【参加をお奨めする方】

楽しく真剣な話し合いをしたい方、ダイアログと内省の中から何らかの気づきを得たい方

【SIGの紹介】当SIGでは、組織変革や新ビジネスの事業化、商品開発、大規模SI等において、対立や矛盾や感情をはらんだ問題に直面し誰も正解を持っていないプロジェクトを想定し、このような状況を克服するためにダイアログやホールシステム・アプローチを活用することを研究しています。また、PMコミュニティにダイアログの場を作ることを実践しています。

●代表:中村 文彦 ●顧問:香取一昭(「ワールド・カフェをやるう」著者)

B-7 13:45 「ドラマチックコミュニケーション」がビジネスを活性化させる! 「本質力」を身につけ貴方という個性を輝かせよう!

株式会社 MANY ABILITIES

代表取締役 野原 秀樹

ワークショップ

【セミナーの狙い】

ビジネスにおける「コミュニケーション」の重要性は誰もが認めている周知の事実である。

では、その「コミュニケーション」能力をアップさせるにはどうすれば良いのか?それは「本質力」を身につけ高めることである。個々のスキルや知識がいくらあっても、それをどのように使いこなして成果に導くかと言うことが重要である。その使いこなす力がまさに「本質力」なのである。本セミナーは演劇・インプロ・パレエのエッセンスを活用した体感型のワークにより感性をオープンにし「本質力」を高めコミュニケーションスキルを高める事を狙いとす。

【セミナーコンテンツ】

1 本質力とは 2 コミュニケーションとは 3 インプロヴィゼーションとは 4 ドラマチックコミュニケーションを体感 5 質疑応答

【受講をお奨めする方】

経営トップ、マネージャー、プロジェクトリーダー、コミュニケーション能力のスキルアップを図りたい方 etc

【講師略歴】演劇やインプロ、パレエなどのエッセンスを活用した新しい体感型セミナー、舞台上に学ぶ!!「ドラマチックコミュニケーション」を企画・展開中。フジテレビ「エチカの鏡」にて「ドラマチックコミュニケーション」が「好感度を上げる5つの大人気セミナー」として紹介された。
・ハーマンモデル認定ファシリテーター ・横浜ベンチャーポート登録アドバイザー ・ヒデキパレエ主宰 ・パレエボランティア代表

A-8 10:00 「死ぬまでに達成すべき25の目標」ふたたび パーソナルPM、4年後の追跡調査

プラネット株式会社

代表取締役 中嶋 秀隆

【セミナーの狙い】

PM手法を個人の目標設定にどう活かすか。4年前に共著『死ぬまでに達成すべき25の目標』を出版し、PM手法の個人生活への適用の一方法を提案した。その際、多くの方にご自分の「25の目標」をご提示いただいた。その後、各人ががどんな進展を遂げているかを追跡調査し、目標設定の意義をふたたび考えてみたい。

【セミナーコンテンツ】

1. メメント・モリ 2. プロジェクト・マネジメント手法を応用する 3. 船長はあなた 4. 自分の立ち位置 5. 自分のビジョンを作る 6. ビジョンを“過去形”で作る 7. 25の目標のすすめ 8. 複雑さを引き受ける 9. 追跡調査—私の25の目標

【受講をお奨めする方】

PM手法を個人の暮らしにも活かしたいと考えている方。パーソナルPMという視点に興味をお持ちの方

【講師略歴】プラネット株式会社代表取締役。日本・アジア地域のビジネスパーソンに、PM技法の研修・コンサルティングを行っている。国際基督教大学大学院修了。京セラ(海外営業)、インテル(国際購買マネジャー、法務部長、人事部長)など、日米の有力企業に約20年間勤務。その間に、海外での半導体工場の立ち上げや会社の設立・合併など、多数のプロジェクトにプロジェクト・マネジャーとして参画。著作翻訳等多数。

B-8 13:45 狩猟型プロジェクトマネジャーの秘密 不確実性の高いプロジェクトを成功させる

アイシンク株式会社

代表取締役 伊藤 健太郎

【セミナーの狙い】

プロジェクトマネジャーは任命されればなれるが、難しいプロジェクトを成功できるプロジェクトマネジャーになるのは容易ではない。高い不確実性と様々なステークホルダーとの衝突の中で、手探りでプロジェクトを進めていく以外に方法がないことも多々ある。不確実性が高く、難しいプロジェクトをチームメンバーと成功に向けて進めていけるプロジェクトマネジャー(狩猟型プロジェクトマネジャー)の特徴について様々な業種でプロジェクトを成功させてきた方々のヒアリング結果を基に検討し、どういう視点、思考が成功に最重要なのかを考えていく。

【セミナーコンテンツ】

(1) プロジェクトマネジャーの武器
(2) 未来との格闘
(3) プロジェクト遂行の快楽

【受講をお奨めする方】

プロジェクトマネジャー、プロジェクトマネジャー希望者

【講師略歴】NKK(現JFE)にて、船用エンジンの製造、環境プラントの研究開発、設計、プロジェクトを国内や台湾、タイで実施。2000年にプロジェクトマネジメントに特化した総合的サービスを行うアイシンク株式会社を設立。著書として、「プロジェクトはなぜ失敗するのか」(日経BP社)、「プロマネはなぜチームを壊すのか」(日経BP社)、「戦略的エンタープライズプロジェクトマネジメント(監訳)」(生産性出版)などがある。

A-9 10:00 仕事を通じて若手を育てる 若手が育つ環境づくりと育成のノウハウを学ぶ

グローバルナレッジネットワーク株式会社

人材教育コンサルタント 産業カウンセラー 田中 淳子

【セミナーの狙い】

マネージャーやリーダーの立場にあるベテランにとって「最近の若手は育ちにくい」と思えるようだが、若手が変化したのではなく、若手を取り巻く「環境」が変化したことにより、「育てにくく」なったのである。その変化をきちんと理解した上で、マネージャーやリーダーは若手を育てる必要がある。このセミナーでは、「いかに若手が育つ環境を作るか」、「若手に仕事を教える場合にどんな工夫をすればよいか」など具体的に事例を交えて紹介する。

【セミナーコンテンツ】

●現代の若手育成における課題 ●若手育成に関する企業の取り組み例 ●若手が育つ「環境」作り ●若手を育てるノウハウ ●具体的な事例紹介 ●近くの方とのディスカッション「自社・自チームの若手育成」
*途中、何度か対話を行う参加型のセミナーです。

【受講をお奨めする方】

●若手の成長支援に興味のある方 ●若手の育成について参加者同士で考えや体験を共有したい方

【講師略歴】ヒューマンスキル分野の人材育成に従事。企業のOJT制度を支援し、各社のOJT担当者に「若手育成・指導方法」を教えている。「日経コンピュータ」「心とからだのオアシス」などで「若手育成」に関する連載を行う。著書「速効!SEのためのコミュニケーション実践塾」(日経BP社)「はじめての後輩指導」(日本経団連出版)他。現在、日経BPmobile「ケイタイ朝イチメール」連載中。ブログは「ヒューマン・スキルの道具箱」

A-10 10:00 コンフリクト・マネジメント 多様化する職場での協調的問題解決

株式会社 オイコス

メンター 鈴木 有香

ワークショップ

【セミナーの狙い】

多様性を前提とする雇用環境において、職場の問題、ビジネスの問題を捉えるコンフリクト・マネジメントの基礎を紹介する。また、Win-Winという概念を体感し、協調的問題解決の視点からの交渉、問題分析をケース・スタディーを通して学ぶ。

【セミナーコンテンツ】

コンフリクト・マネジメント戦略とその選択、協調的問題解決モデルの紹介、ケース・スタディー、一部体験学習やグループディスカッションを含む。

【受講をお奨めする方】

基礎的なマネジメント・スキル、職場での問題解決能力にご関心のある方々。

【講師略歴】早稲田大学紛争処理研究所研究員、株式会社オイコス メンター。異文化教育コンサルタント。コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジ(米国)にて修士号、上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程満期退学。コンフリクトマネジメント、多様性研修、異文化研修、リーダーシップ研修に多数実績。著書に「コンフリクト・マネジメント入門」、文部省検定教科書「On Air」(共著)など。

B-9 13:45 リーダーになれるか!?リーダーは育てられるか!? リーダー塾とアネゴ塾の取り組みと現場の人材育成を考える

株式会社 アネゴ企画

代表取締役社長 上田 雅美

ワークショップ

【セミナーの狙い】

リーダー塾とアネゴ塾では、各自が組織におけるリーダーとしての課題を持ち、1年間という期間のなかで課題解決に取り組むということをやってきました。また、会社を離れ、コミュニティという場で仲間を持つことによる情報や意見の交換なども取り組んできました。このセミナーでは私たちの取り組みについて知っていただくということと、現場でのリーダー育成や人材教育などについて皆様と考えて見たいと思います。

【セミナーコンテンツ】

・塾の趣旨と取り組みについて
・現場の人材育成をどう考えるか(ディスカッション)
・ミニ塾体験

【受講をお奨めする方】

自らがリーダーとしてチームに位置し現場での人材育成をおこなっている(おこないたい)方、リーダー塾・アネゴ塾に興味がある方、自分たちのチームをよりよくしたいと思っている方

【講師略歴】リーダー塾・アネゴ塾主催。プロコーチとしてエクゼクティブ層を中心にビジネス分野でのコーチングをおこなっている。プライベートでリーダー育成として「リーダー塾」「アネゴ塾」という二つの塾を主宰。http://www9.atwiki.jp/anegokikaku/ 共著「システム開発現場のファシリテーション～メンバーを活かす最強のチームづくり」ブログ:アネゴの仕事日記 http://blogs.bizmakoto.jp/Anegokikaku/

A-11 10:00 体験!「質問会議」で変わるチームと組織 議論する会議から対話する会議へ

ビジネスファシリテーション・サービス

代表 新岡 優子

ワークショップ

【セミナーの狙い】

我々は長年、意見を戦わせるディスカッションベースの会議を行ってきた。結果、分裂を来したり、勝者-敗者の関係を生み出したりしてきた。もう変わらなければいけない!この混沌とした時代には、共に考え、新しい解決策を創出していく、新たなコミュニケーション手法が必要である。それは対話(ダイアログ)である。質問会議はチーム内に対話を生み出す新しい会議手法である。質問するだけで意見を言っはいけないルールがある。本セミナーでは体験を通じてその効果を理解して頂く。

【セミナーコンテンツ】

1. 質問会議の効果と進め方
2. チームに分かれてプロの質問会議ファシリテーターと一緒に質問会議を体験
3. IT業界への導入事例と導入方法

【受講をお奨めする方】

プロジェクトを改善したい方、PM育成方法を模索している方、顧客との関係改善を模索している方、自身のコミュニケーション力を上げたい方、組織を変えたい方

【講師略歴】SE、プロマネ、ITコンサルタントを経て起業。オブジェクト指向開発のマネジメント、ビジネスモデリングを取り入れた要求開発、GMMをベースとしたSEPG及びSQAの活動支援を柱に、ファシリテーションとアクションラーニング(質問会議)を取り入れた、チーム育成、PM育成、プロセス改善、組織改革を行う。ファシリテーションの伝道師兼実務者として、講演、執筆にも取り組んでいる。日本ファシリテーション協会会員。